

「一」 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

近年、①コンビニ、ファミリー・レストランや量販店などで、独特の言い回しを耳にするようになってきている。

「一〇〇〇円からお預かりします。」

「牛井弁当になります。」

「温めてよろしかったでしょうか。」

「お箸のほうはお付けしますか。」

使っている店員たちは、お客に対する敬意を示しているつもりであり、敬語であると考えているのだろう。ただし、受け取る側には、a イワカンがあるという者も多い。

こうした言い回しは、若者敬語、ファミ・コン敬語、② マニュアル敬語、コンビニ敬語など、さまざまな名前ではばれている。

このようなコンビニ敬語が使われるようになった背景にはいくつかの事情が考えられる。

コンビニ敬語の使われる場面が多くアルバイトによって占められていることに注目したい。彼らの多くは高校・大学・専門学校生である。敬語は社会人になって初めて使うようになる言葉であり、学生時代は先輩後輩の関係、教師学生の関係以外で使うことがない。アルバイトは研修をほとんど受けることがない。彼らは見よう見まねで接客敬語を使うわけだが、当然先輩たちのやり方に倣うことになる。簡単な方法、b 画一的な方向に走らざるをえない。

旧軍隊では、全国の方言差をなくすこと、また軍隊の規律化のために、自称は「自分」、「です」は「であります」に一元化されていった。これと同様なことが、現代の接客業界におきていると考えられる。どちらも自然発生的におきていくことも興味深い。

接客場面では、そんなに多くのc ハツワは必要とされない。決まりきったいくつかの文型しか使われない。それで、コンビニ敬語を使いこなす店員に、それ以外の会話、たとえば「今日は冷えるね。」などと話しかけてみると、「③ マジ寒いつすね。」などと、d トタンに普段の話し方になってしまい、④ 底が割れてしまう。

⑤ そこから、マニュアルのようなものがあつて、そのように言うように指導されているのではないかという説も流れるのだが、しかし、実際にそのようなマニュアルの実例は発見されていない。あくまでも自然発生的に生まれた、ただ、種類が少ないので、⑥ そのように思われる、ということなのだろう。マニュアルがあるとすれば、使い手の頭の中にしかない。

少ない会話のなかで、なるべく失礼のないように、しかもあくまでも丁寧であろうとすると、短い文型の中に丁寧的な要素をできるだけ盛り込もうとする。「カラ」や「ノホウ」が、普通の助詞の代わりに使われるのは、助詞にまで敬語的要素を含ませるといふ働きであろう。

何人か、実際に使うという若者に聞いてみると、自分の身の丈にあつた敬語を使いたい、という気持ちがあると言ふ。「(A)」というの、なんだか立派すぎて、料亭のe 女将さんであるのならしいけれど、自分のような学生が使うには偉すぎて「コーヒーになります。」というのを使ってしまうというのだ。

また、これらの敬語のどこがいけないのか、全くわからないということも、聞いたことがある。

考えてみると、コンビニが発生してからすでに約三〇年たっており、現在コンビニで働いている若者たちは、物心つく以前からコンビニ敬語を聞いて育っている。そうした敬語が実は間違っているのだと言われても、⑦ それは困るかもしれない。

(金田一秀穂著『コンビニ敬語は口下手文化の帰結——形が変わって生き残る』より)

問一 二重傍線部 a & e において、カタカナは漢字に直し、漢字は、その読みを書きなさい。

問二 傍線部①「コンビニ」はある言葉の略称ですが、短く縮められる前の正式な名称を答えなさい。

問三 傍線部②「マニュアル」、傍線部④「底が割れてしまう」は、本文中でどのような意味で使われていますか。適当なものを後の選択肢ア〜オよりそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

〔選択肢〕

「マニュアル」

「底が割れてしまう」

ア 聖書

ア 応用力の程度がわかってしまう。

イ 対照図

イ 和やかな雰囲気が悪れてしまう。

ウ 手引書

ウ 研修の不徹底が見えてしまう。

エ 地図

エ 自然発生したものだとなわかってしまう。

オ 辞書

オ 緊張感が続かなくなってしまう。

問四 傍線部③「マジ寒いっすね」を、この場にふさわしい言い方に改めなさい。

問五 空欄Aに入れるのに適当な表現は何ですか。前後の文脈から考えて、答えなさい。

問六 傍線部⑤「そこから」がかかる言葉はどれですか。本文中から、文節の形で答えなさい。

問七 傍線部⑥「そのように」とは、ここではどのような内容を指し示しますか。本文中より、適当な部分を抜き出し、その初めの五字と終わりの五字を解答欄に記しなさい。

問八 傍線部⑦「それは困る」とありますが、その理由は何ですか。本文中の言葉を用いて、五〇字以内で説明しなさい。(句読点は解答字数に含みません。)

(1) 次の小説を読んで、あとの問いに答えなさい。

ぼくと綾瀬涼平と一台のスクーターは、じつと黙って夜の中に座っていた。時折吹き抜ける風が冷たい。A。夜道を照らし、車が走り去っていく。一台。しばらくしてまた一台。赤い光のaオビを引いてテールランプが一つ遠のくと、ぼくはひとつ心細くなる。

椅子代わりにしていたガードレールから立ち上がり、ぼくは背後の暗がりのをぞいてみた。落ちたら死にそうな急勾配の木立。黒々とした木々の根本にわずかに解け残りの雪が見える。ずっと下には街灯り。≪1≫向こうには真っ平らな闇がある。Bの海だ。

綾瀬はガードレールに浅く座り、だるいしぐさで煙草を口元に運んでいる。こいつを見ていると、①子供っぽいのが大人びているのか、楽しいのか哀しいのか、よくわからない、中途半端な気分になる。

≪2≫綾瀬は煙草を吸い終え、アスファルトに放った。吸殻はわずかにbコロがり、そして止まる。小さな火種が闇にくっきりと赤い。ぼくは吸殻に歩み寄り、バスケットシューズのつま先でにじり消す。そして綾瀬を振り向いて言った。

「そろそろ行く?」

綾瀬は三秒ほど間を置いて「いや」とかすかに前髪を揺らす。

「けどもう遅いし、帰りが九時を過ぎればうちの母親が心配して騒ぎ出すと思う。ちょっとややこしくなるよ」

ぼくは言った。

「それにオレ、明日から南野中と練習試合なんだ。≪3≫今日はなるべく早く寝たいんだけど」

さらにぼくは言った。

「じゃあおまえ、先に帰れば」

綾瀬が言った。

ぼくはもう言わず、ガードレールまで戻ってまた腰を下ろした。首を襟の中にくぐめ、スタジャンのポケットに両手を突っ込む。

綾瀬が渡米中の兄貴からcムダンでd拝借して来たイタリア製のとっばいスクーターは、②空き腹のくせにいやに重かった。aこいつを引きずって峠道を歩くのは綾瀬には文字通り荷が重いのだろう。尻を押し歩いて来たぼくだって疲れてはいた。≪4≫ぼくらはもう歩き出さなくちゃならない。十三歳のぼくらに運転免許があるわけもなく、帰りの遅いぼくらを心配して大人たちが騒ぎ出せばどうなるのか、bこいつわかってるんだらうか?二本目の煙草の先に火を点けている横顔を恨みがましく見ていると、

「ほしいの?」

ひしやげた箱を差し出してくる。

「いらぬ。…肺活量が減るから嫌なんだ。だいたいおまえは…」

ぼくは偉そうなことを言いかけて、さびしくなったから止めた。そして代わりにこう言った。

③なあ、オレがひとり引いていくから、もう帰ろう」

「……ざけん」

綾瀬はe不機嫌に立ち上がり夜空にふうっと白い煙を吐きかける。東から冷たい風が吹く。背後で④ざわざわと樹々の梢が騒ぐ。ぼくがもう一度「帰ろう」と口にしかけた時、そっぽを向いたままの綾瀬がぼつりと言った。

「でかいな」

「え?」

「でかい月だなんて」

ぼくはわきに立つ綾瀬の顔を見上げ、それからその視線の先を見上げる。どきりとした。



【三】 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

蝦夷の人にア飯を与へしかばいと喜びながら、そこら食ひこぼしてけり。「やよ、米はイ玉の緒つなぐものなるを、などAかくおろそかになすや」と問へば、「われらは、米食ひて命をまたうするにはあらず。鮭といふウ魚食ひて生くるを」といふ。「Bさらば、鮭の魚にて命をのばゆるならば、①それをば貴ぶべからん。いまその足にはきたるものは、鮭の皮ならずや」といへば、しばし頭傾けて、「君の足につけ給ふ草鞋とやらんは、②かの米のいでくる草にはあらずや」といひしにぞ、③あなどるまじきことよと人のいひしとぞ。わが国の人は、よその事を知らねば、蝦夷人のなりかたち、わが国の人と違へば、いと愚かにて何知らぬものよと思ふたぐひぞ多き。それより唐国にてもあれ、蝦夷の人にもあれ、ただ姿の見慣れぬを見ては、腹をかかへて、ことばのわきがたきを聞きては、また笑ふ。④心狭く、よそ見ぬ故なるべし。

(三つは、釋しにべのき聞てば)

△出典「花月草紙」より▽

問一 波線部ア「飯」ウ「魚」の読みを歴史的仮名遣いで書きなさい。また、イ「玉の緒」の意味を、文中から漢字一字で抜き出して答えなさい。

問二 二重傍線部A「かく」B「さらば(さあらばの略)」の指す内容を本文中より、一文で抜き出しなさい。

問三 傍線部①「それをば貴ぶべからん」の「それ」をはっきり示し、現代語訳しなさい。

問四 傍線部②「かの米のいでくる草」とは現代でいったら何にあたりますか。漢字一字で答えなさい。

問五 傍線部③「あなどるまじきことよと人のいひしとぞ」の現代語訳として、最も正しいものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 軽蔑すべきことだとある日本人が言ったとかいうことだ。
- イ あなどるようなことはあるまいとある唐の人が言ったとかいうことだ。
- ウ 馬鹿にしてはならないことだとある日本人が言ったとかいうことだ。
- エ 軽くみてくれるなどある蝦夷の人が言ったとかいうことだ。

問六 傍線部④「心狭く、よそ見えぬ故なるべし」の現代語訳は「心が狭く、他国をみないからなのだろう」となります。これは、どこの国の人を言っているのか、文中より抜き出して答えなさい。

問七 本文の趣旨を諺に置き換えることどのような諺が適当ですか、次の諺の中から最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

- ア 河童の川流れ
- イ 一寸の虫にも五分の魂
- ウ 虹蜂取らず
- エ 井の中の蛙
- オ 鯛の頭も信心から
- カ 魚心あれば水心